

INDEX / 目次

- 組合長に聞く〜2010年を振り返って…2
- 全道JA青年部大会…3
- 北海道をもっともーっと食べようディナーパーティー…5
- 青年部勉強会、JA根室地区女性協議会幹部視察研修…6
- 食育にススめ、まるごと中標津給食…7
- 第8回理事会報告、夢広がるクロスワードパズル、読者の声…9
- 普及の窓〜お互いが働きやすい環境づくり
- みんなの目標を持って取り組もう…10
- 酪対・同志会合同乳質改善勉強会、同志会勉強会…11



北海道をもっともーっと食べよう  
ディナーパーティー (2010.11.26)



シンボルマーク「笑味ちゃん」  
が「よい食」を全国に広めています。

詳しくはホームページで

よい食  検索

中標津町農業協同組合

夢  
広がる  
なかしべっ

JA中標津

検索



ケニタイ用  
QRコードは  
こちら!!



2010年を振り返って

## 天候に振り回された一年

**本** 年も残すところわずかととなり、冬將軍の到来に備えて何かと忙しい毎日を送られていることと御推察申し上げます。

一年経つのも年々早く感じます。今年を振り返りますと低温、日照不足により前年を思い出させる心配な状況の中、春耕期から6月中旬になると一転し、気温・日照も夏らしい日差しに戻り、気象庁すら長期予報も修正せざるを得なくなり、安堵する中、畑作では防除・培土等の作業も順調に進み、牧草の収穫においては量・質も確保でき、出来秋に期待をしております。

しかし、7月中旬より日増しに気温も上がり、日差しの強さから次第に乳牛はバテ気味となり、乳量の減少や乳成分・乳質にも悪影響が現れ、組合員ご家族にとりましては苦労の連続であったことと思います。

9月単月には北海道で観測史上最

高の高温と日照りに見舞われ、乳牛のみならず畑作物では大根、ブロッコリーの反当たり収穫量が計画を下回りましたが、全国的な酷暑の傾向により市場の出回りが少なく高値に推移したことでまますととなりました。澁原馬鈴しょ・ビートは、寒冷地作物としては大きな影響を受け不作。ただし生食、加工、種子は努力の甲斐もあり、量も確保でき規格品として評価していただいたことから何とか今日を迎えている次第です。

**目** 下22年の組勘精算を迎えて、個々の経営の状況を担当職員と協議しながら進めております。特に酪農家は基本乳価が4月より下がったことに加え、乳量が搾れないことで厳しさが増しているの見ております。又、畑作においても前年に増して収量の減少を始め、地域差、作目の取り組みの差が広がってきており、今後の取り組みに課題を残し

ております。同時に23年の営農計画策定の時期を迎え担当と詰めていただいております、それぞれの課題に挑戦して前に一歩踏み出せる様願っております。

― 方農協事業ですが、信用・共済は計画通り進捗しております。Aコープは計画対比で苦戦、スタンドは計画以上で推移、肉牛センターはF1を中心に価格が回復しませんが、今後更にホル肉の回復に期待をしております。

いずれにしても、日本経済の安定、回復に大きく左右される面があり、引き続き気を引き締めてまいります。組合員の生産を今後どうするかについて対策・方向を示し、共に乗り越えるための工夫をしてまいりますので御理解・御協力をお願い申し上げます。

最後に、菅総理が前向きになっていくTPPにより日本中が大騒ぎと

なっております。私も農業者も、いかに政府が日本の食料自給率の重要性を理解していないことに驚いていくところですので。すでに世界的なWTOに始まり、2カ国間で結ぶFTA、EPA等様々な交渉があり、現在進行しているものもあります。資源に乏しい日本ですので産業界の思いも理解できませんが、短期間でこのような重要問題を判断するには無理があります。もっと冷静に産業界と農業団体、そして国民が輸出、輸入の影響を多面的な角度から検討されるようお願いしております。

どうぞ一段と寒くなつてまいりますので風邪、怪我等に注意され新しい年を迎えられることをお祈り申し上げます。

本当に一年間ご苦労様でした。



# 全道大会

全道の盟友が約600人集まり、農業の可能性を自ら確認し、受け継がれてきた情熱と希望の大地を次代につないでいくための取り組みの強化を確認しあった第59回 全道JA青年部大会が12月2～3日で札幌パークホテルで開かれ、「With you～故郷を想う～」を大会テーマに、基本農業政策の確立、命の教育、青年組織から次代への発信、北海道農業の確立に渡って、誇り高き農と食の故郷を築くことを誓い、決意を宣言しました。

## 食の故郷を築くことを宣言

ふるさと

JA中標津青年部からは、林直樹部長、遠藤洋志監事、地区大会で青年の主張発表を行った小田将志君、斉藤希君、地区青協副会長として参加の中本信幸元部長、顧問として全道青協役員となっている佐々木大輔元部長が参加。

初日、1時からの開会式では、参加者全員での綱領朗唱のあと、全道JA青年の主張大会では、根室管内から代表のJAけねべつ・杉本聡史さんによる「俺の夢！君に届け一杯の牛乳」を地区大会の時よりさらに完成させて発表しました。続いて、開かれた実績発表大会では、留萌、石狩、道南、釧路、オホーツク、上川の6地区から、青年部活動の取り組みが発表され、全道各地の盟友が取り組む事業について、参考になる紹介が伝えられました。5つのテーマに分かれて行われた分科会では、婚活について農協観光の取り組み都市からの農業体験受け入れ事例などを踏まえて紹介されたほか、酪農畜産では、口蹄疫について北海道NOSA I家畜部で6月に実際に宮崎県へ出向した伊藤純一課長補佐からの体験が報告され、その当時を振り返り、この状況が「北海道で絶対起きてほしくない」と切に想った」と話されました。

参加者全体での懇親会では、アームレスリング大会が開かれ、根室地区代表のJAけねべつ・山本博一さんが1回戦突破の結果となりました。JA青年の



佐々木大輔顧問



1分間パフォーマンス  
小田将志さん



JA道東あさひ  
藤本寿樹さん

JAけねべつ  
山本博一さん(左)

歌「君と」北海道大会では、アカペラや覆面など様々なパフォーマンスがありましたが、根室地区代表のJA道東あさひ藤本寿樹さんは2番をカンペなしで熱唱。気持ちの入った歌声を響かせてくれました。

2日目は、北海道大学農学研究院 准教授の相馬尅之氏による土作りのお考え方としての土壌管理手法「省耕起」のすすめという内容で記念講演が行われました。

本大会前の1分間パフォーマンスでは、昨晚の根室地区青年部内での取り決めから、当JAの小田将志さんが根室地区の代表となって参加。地区大会での青年の主張発表、第2章というこ

とで、愛の伝道師として演題に立ちました。

本大会では、前日の結果発表がなされ、青年の主張大会では、十勝地区の白川泰寛氏の「俺は関係ない」。実績発表では上川地区代表JAひがしかわ青年部の「この町で生まれ この町で生きていく 地域活性化プロジェクト」が東北北海道大会出場の切符を手にしました。表彰のあと、全員で「君と」を歌い、ガンパロウ三唱で閉会しました。





## 会場を埋め尽くす人、人、人 ディナーパーティーに集う

北海道をもっとも一つと食べようディナーパーティーが11月26日、中標津町内の寿宴で開かれ、会場には中標津町内のみならず近隣町村からも多くのお客さんがかけつけ、こだわりの地場産物を使った食事を試食していました。



中でも、雪印乳業なかしべつ工場では今年、国内のピザチェーン店CMで「中標津産チーズ使用」ということを大々的にPRし、中標津をしつかり「なかしべつ」と読んでくれる人が増えたという話の核になっている、雪印なかしべつ工場製造のゴーダチーズ20kgのブロックを掲げ、また、なかしべつ工場で製造されている「さけるチーズ」もPRしました。

今年もメイン会場後方中央にブース参加の依頼を受けた当農協乳製品工場からは、服部主任が来場者になかしべつ町農協ブランドの牛乳の説明。雪印、森永、明治の3乳業メーカーからは、工場で製造している製品について、アピールするひと時となりました。

このイベントはJA根室地区青年部連絡協議会やJA根室地区女性協議会、根室地区酪農対策協議会が共催する北海道米と牛乳・乳製品の消費拡大を目的としたもの。今回で6回目を数えます。共催団体それぞれが、担当に分かれてイベントを運営する中、今年は、地区女性協議会でスイーツを担当し、テイラミスやヨーグルトムースなどそれぞれ300食分の試食を用意。ステージ上での進行は地区青年部協議会があたり、PRタイムでは、北海道米についてミス北海道米の山崎有加里さんが「ななつぼし」ちゃんと一緒に北海道米のPRをしました。



鈴木直良地区青協会長





乳業メーカーは会場内の別の場所ではチーズの試食を提供し、モツツアレラチーズを塩コショウとわさび醤油でいただく、食べ方の提案やカマンベールチーズ、スマートチーズの試食などを行っていました。北海道米のイベントでは、お米のクイズや炊き立てホクホクご飯の試食なども行われていました。

また、北海道米で作られたお酒の試飲コーナーもあり、北海道米で作られたお酒は冷酒に向くといううちちくも伝えられました。

会場内は、急に寒くなった外の気温を配慮し、暖かめの暖房で始められましたが、来場者がひしめく中、暑さが増し、さらに例年よりも多くの来場があったよううで、用意された試食品が多くのテーブルで空になるほど盛況となりました。

最後に、各農協と出店社からお土産になる抽選会が開かれ、大きなプレゼントを持って会場を後にする姿も見られました。

広く一般の方にPRすることを基本に、午後6時30分スタートという時間帯で行っていますが、メイン会場のイベントをなにか考えたほうがいいというご意見もいただいております。お米と牛乳・乳製品の消費拡大を図るこのイベント、毎年開催を待ちわびている方々も増えていきます。最後のお土産に同封されたレシピを早速家庭でも作ってみるという方が増えたり、米食牛乳・乳製品のこと、地産地消のことにこだわる消費者を増やすための良策はなにかを考え、知恵をしぼってイベントの企画を進めましょう。





JA YOUTH

## 青年部勉強会

# なぜ農協に集い活動して行くのか

青年部の勉強会が11月19日に開かれました。今年の方針は、回数を出るだけでなく勉強会を行う。内容は、春に各都員に聴き取った内容で多かったテーマについて。今回は、道中央会の根釧支所から熊谷知之氏を講師に招き、青年部の組織について、地区青年部連絡協議会の事務局をされている経験を踏まえて、また、「地上」11月号を活用しながら、青年部になぜ集い、活動するのか話していただきました。終了後は、3つのグループに分かれて討議しました。



JA  
根室地区女性  
協議会

## 幹部視察研修

J A根室地区女性協議会の幹部視察研修が11月4日から6日の間で開かれ、根室管内の各女性部の幹部と中央会事務局を含め7人が参加し、ホクレンの首都圏での道内産品の販売促進を手がける販売本部で昨今の情勢を聞いたり、千葉県のダイエーいちかわコルトンプラザ店で、牛乳の試飲販売を行うなどの首都圏における牛乳の消費拡大について体験を含めて行ってきました。



初日は、大都市における牛乳・乳製品の消費動向についてホクレン販売本部牛乳課・乳製品課からの話を聞きました。

2日目には実際に行われているイベントを視察しながら実際に販売に携わるということで、ミルクランド北海道フェアの行われているダイエーいちかわコルトンプラザにて日々農家の現場を知り、農家の苦労がわかるマネキンさんとしてお客さんに北海道の牛乳を飲んでもらいPRにあたりました。ダイエープライベートブランドの「おいしくたべたい北海道牛乳」、特選北海道根釧牛乳はよつばの製品、べつかいの牛乳屋さんの牛乳も試飲で紹介。金子ひろみ部長は、「なかしべつ牛乳」の試飲販売を行ってきました。



# 食育に ススメ 食農教育

TPPの話題とともに、食料安全保障の話が大きく取りざたされるようになりました。首相の発言によりTPP参加の意思があることやその急な展開に、日本の食というものを軽視しているのではという発言や意見とともに大きく聞かれるようになりました。

前回お伝えした食育の3つの柱のうちの3つ目の柱です。

世界的視野で見たときの日本の食。食べたい時に、もしかしたら食べられなくなる。今はいいかもしれませんが。日本という国の位置づけがまだ先進国という位置にあるからです。しかし、後進国、先進国の差は無くなってきています。先進、後進という言葉も無くなっていくはず。日本を取り巻くアジア圏で見ても、十年、二十年前は格差があった国でも、貿易を含めて格差が無くなっていくばかりか分野別では引き離されている産業もあります。

国家間のやりとりは、貿易を含めた政治的な判断ということとなっていきますが、今でさえ地球規模で見ると餓死で苦しむ国があります。ごく一部の地域のとらえるかもしれませんが、世界でならしてみても60億人の口に食べ物が届かなくなる未来が試算されています。

そんな中で食料という生きるのに必要なものを他国の生産に任せるようになっては、日本の主張が今以上に通らなくなることになります。諸外国と比べ、主張の下手な日本人と言われますがここをpushさえていかなければ日本の未来はない。だから食農教育にススメ！



## 「まるごと中標津」給食 地元の味を知り おいしさのヒミツを 伝える

中標津町地産地消推進協議会が取り組む「まるごと中標津」給食の平成22年度、2回目の提供が11月25日、計根別小学校での出前授業と合わせて、町内の各小学校・中学校で一斉に行われました。今回は、ハンバーグのほか、パンには当農協酪農課乳製品工場で作ったミルクジャム。これが、普段パンを食べないで残す子達にも好評でした。さらには中標津牛乳、ビーフシチューといった、まるごと給食なら

ではの献立でした。その献立のレシピは子供たちが持って家庭に帰る。家庭ではそれを親御さんが見るほどと思う、ただだければありが



たいという取り組み。今回の出前授業の会場となった計根別小学校4年生に向けては、計根別の女性農業者グループ、えふすいーるのメンバーが講師となつて、生徒たちに中標津の牛乳ができるまで、お肉の流通の流れなどが伝えられました。

農畜産物って、こんな風にできていくんだって。この取り組みによって、地域のものを率先して選ぶ「選食力」が親子ともに養われることを期待しています。

# Crossword Puzzle

## 出題/ニコリ 夢広がる クロスワード

先月号クロスワードパズルの答えは「クリスマスケーキ」でした。

当選者は小出公子さん(俣落)、笠原よし子さん(俣落)、安江昌子さん(第2俣落)です。おめでとうございます。

クリスマスのケーキを注文する時期になったなあ。もう、一年が終わりますね。

□蹄疫でイベントが少なかった一年。でも、それはそれで、会議をいつも以上に行う必要が出てきたりと、例年よりも様々なことを考える機会となった一年だったと思います。

農業に絡むバイオセキュリティや農政、日本国の行く末など。TPP（環太平洋経済連携協定）は国民全体の今後の生活につながるからだけでなく注目されます。

歌手・俳優の長渕剛さんの替え歌でTPP～TPP～TPP～♪ろくなもんじゃねえ～♪って歌ってた人がいたなあ。

### タテのカギ

- ①長寿でめでたいとされる動物
- ③漆を塗ってあります 塗り物ともいいます
- ⑤大学受験のため入学——を提出した
- ⑦よく伸びて弾力性があります
- ⑨堂々とした立派な姿
- ⑪七福神の一人 よろいを着けた姿です
- ⑫高い山に登ると薄くなってきます
- ⑬帰り道
- ⑮本にとっては顔かな？
- ⑰生命——健康——損害——
- ⑱神様が結んでくれることもあります

### ヨコのカギ

- ①お供えもちを割って食べる行事
- ②剣道で着ける防具の一つ
- ③使ってなくなってしまう品物
- ④俳句に詠み込んで、季節感を表現します
- ⑥スポットライトが当たる存在
- ⑧機械では計測できても、人には感じられない程度の揺れです
- ⑩今度引越す——は、すぐ近くにありますが
- ⑫交通機関は使わずに——で来ました
- ⑬見上げる方向

## 第8回 理事会

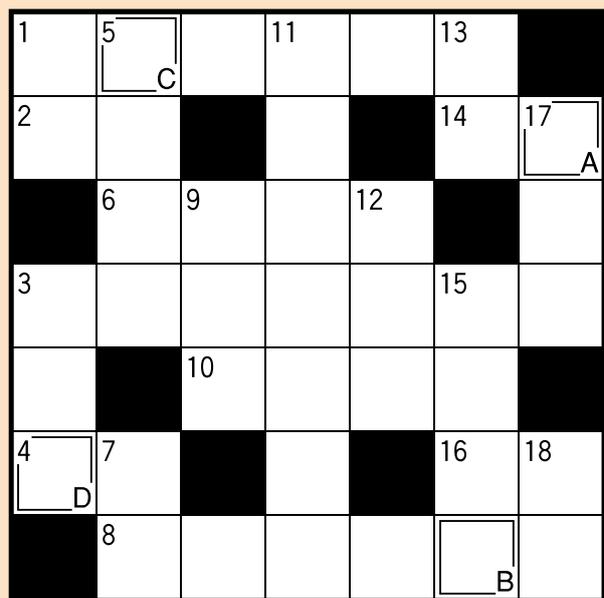
開催月日 平成22年11月25日  
開催場所 農協中会議室

### 決議事項

1. 平成22年度9月未定例自治監査の結果と回答について
2. 乳牛導入に対する乳牛導入経費の助成について
3. JA農業経営緊急支援資金要領の一部改正について
4. 負債整理資金貸付利率の軽減について
5. 理事に対する貸出金の承認について
6. 各種資金の借入について
7. 平成23年度重点指導組合員・指導組合員について
8. 経営企画課車両リース更新について
9. 組合員の出資持分譲渡について

### 報告事項

1. 組合員の加入及び脱退の状況について
2. 内部審査の結果について
3. 平成22年度生乳生産状況と乳質について
4. 平成23年度酪農畜産政策・価格対策に係る今後の対応について
5. 酪農冷湿害対策関連施設整備補助金について



二重マスの文字をA～Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

11月号クロスワードの解答  
『クリスマスケーキ』

# 読者の声

■今月のお題■  
冬におすすめるのは  
をテーマになかにも  
トを思いつかないときに  
活用下さい。

## 北海道の伝統食は

### 「じゃがいも」だといつので

●この間、野菜の収穫も全部終わりで、車のタイヤも交換しました…。もうすく寒い冬ですね…。

やっとJAなかしべつ広報誌、夢広がらなかしべつを愛読…そして、クイズを毎月楽しみにしております！

「冬におすすめるのは？」やはり、地産産物のじゃがいもを使った、煮込み料理、いろいろな食べ方の創意工夫が、今月号に掲載されていましたので、参考にさせて頂きます。…これからも楽しみにしておりますので、宜しくお願い致します。

▼PN/じゃがいもさん  
雪のない冬を迎えておりますが、明日から降るとか積もるとか。(12月7日現在)

天気予報に左右されるだけでなく翻弄される人生を送りがちな農家の皆様だと思えます。天気予報は予報であり、当たらないときはとことん当たらないので、困りますね。

車もひと昔前はFRだったのがFF車が登場し、今では北海道の冬道は4WDが当たり前みたいになっております。利便性・快適性を高めるために日々進歩する技術力に感謝ですね。

## 薪ストーブ最高!!

いよいよ、あと今年も1ヶ月半となり、気ばかりがせわしくなってきた

います。おいしいかぼちゃを今のうちに、大根は漬け物に、家の中の掃除は窓拭きから…でも、気分転換に街へもウィンドーショッピングもしたいな。次から次へとうかんで来てても体は動かさず、やはり牛舎へ働きにと、落ち着くとこに落ち着きます。

何よりも動ける事は元気でないと何も出来ず主人共々健康に気を使っています!!皆様もお体ご自愛下さいね。冬におすすめるはやっぱりまきストーブ! 幸せな気分にしてくれま〜す。

▼小出 公子さん  
薪ストーブの周りでぬくぬく。子供の頃を思い出す。コマイを乗つけて食べたり、にんにくを焼いたり、魚は食べた後に骨をまた、ストーブに乗つけてカリカリにして食べたりと食べてばかりかい? おかげさんで、子供の頃から飲んでいる牛乳と魚の骨で骨密度は120%以上をキープしていますよ。そう考えるとたといやな顔をされても子供の体を作るのは親の務めなのかなとも思えます。両親に感謝ありがたや。

「○○に言いつつ」  
農協みんなのためになると思う。  
「冬」に限らず、おすすめるは「きたほなみでつくる生パスタ」という商品です。最初に買ったのはトックだったのですが、モチモチしてとつても味がよく、3分で茹でられるのも便利! また食べたいなーと思っていたら、ある日、ある日に並んでいるじゃありませんか! しかもあっちより安い298円(2人前)! カルボナーラソースで食べるのが人気で、少食の息子もこれなら

2人前をペロリです。  
カルボナーラで生クリーム、粉チーズ、パスタは道産小麦地産地消、消費拡大にもってこいでしょ!!  
\*あるるに一言

並べてPOPを貼るだけでなく、もつとPRしたい部分やこれはちよつと違うんだよと教える演出が欲しい。全体に言えることだと思っておりますが、足を止めて、手にとつて見てもらう等、大切なことに思えます。ただ山に積んでいて売れるのは安くて人気のあるものだけだと思つて。

▼PN/ボスさん  
細かいことを言うつとあれですが、組合員の方々、けっこう『オドック』を使つてらっしゃる。使つていふことは利便性が高いから利用するといふのもありますね。大手と同じく細かいなサービスはできないまでも、サービスの質向上に向けての努力はできる。農協へのご意見は貴重なお言葉として、ちよつとだいたい業績向上へのヒントとして業務にいかして参ります。

「○○に言いつつ」  
農協みんなのためになると思う。  
「冬」に限らず、おすすめるは「きたほなみでつくる生パスタ」という商品です。最初に買ったのはトックだったのですが、モチモチしてとつても味がよく、3分で茹でられるのも便利! また食べたいなーと思っていたら、ある日、ある日に並んでいるじゃありませんか! しかもあっちより安い298円(2人前)! カルボナーラソースで食べるのが人気で、少食の息子もこれなら

カルレーやシチューの肉は  
豚肉なの? 牛肉? 鳥?  
●冬におすすめるは、我が町の豚肉とジャガ芋、人参などを使って、シチューやカレーライスがいいですね。なべものもいいです。今年野菜が高いのですが自分で収穫した作物を大切に食べて行きたいです。

この間、あるAコープで「アップルリング」のパンを買いました、とつても大きくて、中にはリングと干しブドウが入っていておいしかったです。  
▼PN/安江昌子さん

今年クリスマスまでに雪が積もるかな?

◎北海道ではあんまり牛を食べる食文化がないつて本当ですかね。うちでは子供の頃からラム。肉といえばジンギスカンで育ちました。高校卒業まで鶏肉や豚肉、牛肉なんて口に入つた記憶がないです。あーっ、二ク食いてえーっ。

◎牛たちのご馳走はなんでしょうね。栄養価の高い配合飼料? 喰い込みのいい長めの乾草? にんじんカスや大豆カスなどの単味でもバクバク食べたりますね。

牛たちが美味い美味いって食べているところをわかるのは日々見ている飼っている農家の方々なんでしょう。私が牛舎に行つて見てもわからないですもんね。生産者の方々のクリスマスプレゼントやお年玉になる政策が天から降つて来てくれないと、年越しできない。そんな2010年末です。



## 普及の窓

### 根室農業改良 普及センター

# お互いが働きやすい環境づくり みんなの目標を持って取り組もう!

酪農経営は毎日の積み重ねの結果が経営につながっています。  
皆さんは誰もが気持ちよく、働きやすい環境であることを望んでいると思います。  
しかし、仕事と生活が同じ環境であるため、日常のちょっとした行き違いからくる不満をため込んでしまうケースも見受けられます。  
経営を今年よりも来年さらに伸ばすためには家族の協力が欠かせません。  
ここでは近年、経営移譲し、農場の目標を決めて取り組んでいる事例を紹介します。

## 1. 経営概要

経営者 (30代)・妻 (30代)・父 (50代)・母 (50代)  
経営者は会社員を経て、結婚後就農した。経営歴3年。

### 仕事分担

経営者 エサづくり・搾乳  
経営者妻 搾乳  
父 哺育・外回り(寝わら入れ他)  
母 搾乳 孫の面倒

## 2. 経営方針

定期的な休日を取り、ゆとりある酪農をめざす。

## 3. 目標設定のために行う経営者の行動

- ① 1年をふりかえってどのような1年であったか、経営方向がどっちに向いているのかを整理。(資金返済などの確認)
- ② 翌年の計画をたてる前に家族の意見を聞く。
  - ・作業はどこまでできるのか?
  - ・壊れそうな機械や必要な物。
- ③ 今後の方向を伝える。  
経営状況と、不満が出そうなことは、先に言っておき、了承してもらう。



協議の結果  
☆本年の目標を設定  
「本年の目標は出荷乳量増」

目標に  
向かって  
進む!!

### (1) 目標達成に向けた手法

- ① 牛を増やす。
- ② 乳房炎の早期治療を行う。
- ③ 寝わら入れをしっかりとやる。
- ④ 作業時間帯を変える。  
牛が増えると作業時間が増えるので、朝のスタートを早めて夜早くあがる。

### (2) 情報の共有 伝達方法

- ① 処理室入り口でバルクの乳量をみんなで確認している。

- ② 情報は何を見てもいいように机の中に分類してある。
- ③ どんな些細なことでも、目標に係わる情報はみんなで共有している。
- ④ ミーティング  
朝の搾乳後、母の楽しみであるNHK連続ドラマを見て、コーヒーを飲みながらミーティングを行っている。  
☆ミーティングに対する経営者の考え  
一日にすべきことを話しておくのであとからもめない。

### (3) お互いが考え、協調性を保つ

- ① 経営者妻の思い  
早く経営を軌道に乗せたいと思っている。家族に頼めることは頼みたい。
- ② 父の思い  
経営を譲ったので、担当以外はできるだけ、口出しせず、相談されたら答えるように努力している。  
機械などは見に行かないようにしている。
- ③ 母の思い  
仕事を頼まれれば気持ちよく手伝うようにしている。話を仲介せず、聞き役に徹している。

### (4) 仕事を評価する

- ① ボーナス  
乳質の表彰金は経営者の妻へあげる。(感想・頑張ってもらえたご褒美はうれしい)
- ② 休日  
牧草の収穫などの仕事が早く終わったときは息抜きの休日を作る。ヘルパーを取るときは夫婦単位で取り、不公平感を無くす。

## 4. 経営者になったの変化

昔は経営者が何を考えているのかが分からなかったが、経営をやってみてやりくりと収支の流れが分かってきた。お金を借りた重みと早く返す事が今の自分の大きな目標になっている。

面倒だが、自分が言わないと人は動いてくれない。最初は家族に頼みにくかったが今は言うようにしている。近年は資金繰り、父母の体調などを考えるようになってきた。

不明な点は、お気軽に普及センターへ  
お問い合わせ下さい。(☎0153-72-2163)

詳しくはホームページで

普及センター 北根室 検索

## 酪対・同志会合同乳質改善勉強会

# 乳房炎の対策や 乳質・成分乳価を学ぶ

11月19日にJA中標津にて酪対・同志会合同の乳質改善勉強会が開催され、NOSAI新家獣医師・中標津家畜健康センター 加藤獣医師の2名が講師を務め、会員・関係機関総勢49名が参加されました。

NOSAI 新家獣医師により「乳房炎について」乳房炎原因菌の種類・発生要因・防除対策について説明がなされました。発生要因は牛の状態（遺伝的・年齢・乳頭の形状・抵抗力など）と環境条件（ミルクカーの不備・環境不衛生・給餌の粗悪など）と微生物の原因菌の侵入の三者が相まって乳房炎となる。健康体での体細胞数は10万以下であるが、15万以上になると乳量が増加するにつれて更に体細胞数が増加するにつれて乳量の減少が大きくなる。発生要因を知りいち早く解消に取り掛かる事が重要である。

中標津家畜健康センター加藤獣医師により、「体細胞数上がるのは何故？乳房炎が出るのは何故？」免疫力の低下について説明がなされました。1年間の乳房炎発生頭数状況では夏期の高温時期と粗飼料の切り替わり時期の秋期に発生していることから、粗飼料分析値を見て品質が粗悪ならば良質粗飼料と混合しながら給餌する事が大事であり、給餌は人間のご飯と同じように扱っていただきたい（残飼をこまめに片付け）・残飼を他の牛に与えない・TMRはまとめて



作らない・飼槽・水槽をこまめに掃除する。毒素の高い粗飼料を給与する事により、免疫力が著しく低下して乳房炎や様々な病気を引き起こし、いくら治療しても完治しない。早期発見早期治療を心掛け抗生物質だけでは治らない事を念頭に置き、日々の飼養管理に励んでいただきたい。

生産部酪農課金子課長より「乳質・成分に係わる乳価について」過去10年間のJA中標津生乳生産状況・出荷乳量別階層・生菌数・体細胞数の推移について説明がなされました。1戸当たりの生乳生産増と牛群平均乳量は増加しており、生菌数・体細胞数については好成績を維持している。出荷乳成分の差と毎旬検査の生菌数・体細胞数のランク別をシュミレーションすると年間数百万円の乳代の差が出る。生乳は経営成果の最終産物であることから、繁殖管理・飼養管理・牛群の健康管理・草地管理など様々な要因をチェックしながら経営に励んでいただきたい。

## 中標津乳牛改良同志会勉強会

# 日本と海外の指数 部門格付け重視度を知る

11月26日に中標津乳牛改良同志会勉強会が開催され、ABS株 竹田秀臣氏を講師に招いて海外種雄牛の近況並びに海外シヨウ鑑賞会を行いました。

先日アメリカで開催されたワールドデーリーエキスポ2010を鑑賞しながら、チャンピオン戦出場牛の説明並びにチャンピオン・リザーブチャンピオン獲得牛の説明後に現在・今後注目されるファミリーの説明がなされました。

種雄牛成績に用いられている総合指数は今現在、能力・体型・健康の3部門に分けられており、アメリカ・カナダ・日本の各部門の重み付けの違いについて説明がありました。アメリカ総合指数の重み付け過去10年の流れを見ると能力部門が年々軽視される反面で健康部門が追加されてからは年々重要視されている。国毎で各部門の重み付けが違うので重み付け詳細を充分理解して購入・選定いただきたいとのことでした。



## 行事予定表

### 2010年11月 組合動静

1 (月)	年末貯金キャンペーン～12/30
2 (火)	第7回理事会、地区女性協役員会
3 (水)	文化の日 参事会道外研修～6日
4 (木)	青年部地区大会(寿宴) 地区女性協幹部視察研修～6日
5 (金)	第3回結婚祝旅行～6日 酪農共済推進担当者会議～6日 女性部 加工体験受入、加工部会 加工体験受入
8 (月)	同志会俵橋支部研修会～9日
9 (火)	組合長会道外農業視察研修～12日 雪印種苗 種苗研修会
10 (水)	女性部 フレミズ活動、 購買事業推進委員会道内研修～11日 Aコープチェーン運営委員会 道外研修～13日
11 (木)	管内和牛指導者養成セミナー～12日 JA北海道女性大会～11日、あらかると交流会
12 (金)	道民総決起大会～13日、酪農技術セミナー
13 (土)	大坂婚活交流会～15日、加工部会 加工体験受入
15 (月)	定例自治監査～18日、酪農ヘルパー全道研修会、 乳質改善勉強会
16 (火)	一斉ワクチン接種～19日
17 (水)	女性部 青葉会活動、同志会開陽支部研修会～18日
18 (木)	加工部会 製造販売活動
19 (金)	根室農業大賞表彰式、青年部 勉強会
20 (土)	加工部会 製造販売活動
22 (月)	第4回営農委員会、女性部 手作り講座(エコクラフト)
24 (水)	全道グリーンアドバイザー研修、 加工部会 全体研修
25 (木)	第8回理事会、全道結婚相談員研究会～26日 一斉ワクチン接種～26日
26 (金)	青年部・女性部・酪対ディナーパーティー
29 (月)	地区別懇談会、家畜人工授精師協研修会～30日
30 (火)	澱粉工業協会役員視察研修、 女性部 手作り講座(デコクレイ)、スタンドミーティング

### 2010年12月

1 (水)	根室・釧路管内合同JA役員研修 澱粉協会役員視察研修～2日、営農計画書作成～25日 家畜人工授精師技術研修会～3日、加工部会 役員会 ヘルパー会議(寿宴)
2 (木)	JA常務・参事会議、青年部 全道大会～3日
3 (金)	乳製品工場落成式、中斜里澱粉工場運営協議会 中標津町和牛生産改良組合親睦会 管内和牛指導要請セミナー～4日、女性部 役員研修
4 (土)	T P P交渉断固阻止根室管内総決起大会 地区別懇談会 俵橋
5 (日)	
6 (月)	地区別懇談会 第2俵落・西竹/開陽 女性部 手作り講座エコクラフト ローリー衛生管理講習会
7 (火)	第3回管内農協組合長会議、酪協協会理事会 第3大学連携シンポジウム
8 (水)	第6回熟年会役員会、 青年部 反省会(寿宴)、馬鈴しょ振興会役員会
9 (木)	馬鈴しょ耕作者全体会議、中標津町表彰者選考委員会 シルバー人材センター交流の集い、第2回参事会議
10 (金)	乳牛改良同志会反省会、JA共済事故処理管理者会議 女性部 役員会
11 (土)	加工部会 製造販売活動
12 (日)	JA組合長杯ソフトバレー大会
13 (月)	管理部課長会議 全道AI協会乳牛改良意見交換会～14日
14 (火)	道酪対・生乳受託販売合同会議、女性部 青葉会活動 根室管内技術交流会
15 (水)	根室AI協会講習会
16 (木)	根室管内和牛セミナー
17 (金)	役職員忘年会(予定)
18 (土)	
19 (日)	
20 (月)	22年度黒毛和種研修会～21日
21 (火)	根室管内木造牛舎普及検討会
22 (水)	
23 (木)	天皇誕生日
24 (金)	
25 (土)	
26 (日)	
27 (月)	
28 (火)	
29 (水)	
30 (木)	業務納め
31 (金)	

## 乳製品を使用した美味しいレシピ

11月26日に行われた、もっともーっと北海道を食べようディナーパーティーのレシピの中から、「モッツアレラチーズとライスのサラダ」を作ってみました。以外に簡単にボリュームもあり、サラダとは言っても、ご飯も入っているので主食としてもいけます。

# モッツアレラチーズとライスのサラダ

### ●材料 (3～4人分)



- ご飯 ..... 3カップ
- ナス(中) ..... 3個
- オリーブオイル ..... 小さじ2
- モッツアレラチーズ ..... 1個
- フレンチドレッシング ..... 小さじ3～5
- 卵 ..... 1個
- トマト(大) ..... 1個
- おろしにんにく ..... 少々
- 塩・胡椒 ..... 少々
- きゅうり ..... 1本
- レタス ..... 2～4枚

### ●作り方

- ① トマトは湯むきして櫛型に切ります。
- ② 卵をゆで卵にします。お湯に塩とオリーブオイルを数滴入れます。固めにゆでたあと殻を取り除き輪切りにします。
- ③ きゅうりは洗って輪切りにします。
- ④ モッツアレラチーズは水切りして輪切りにします。
- ⑤ ナスは皮をむいて1cmの角切りにしてオリーブオイルで炒めます。茄子を炒めていくと、容積が減っていきます。さらに、おろしにんにくのチューブから少量をフライパンに加え、炒めて塩・胡椒で味を調えます。
- ⑥ ナスとご飯を混ぜます。
- ⑦ 皿にレタスを敷き、⑥を盛ります。  
①～④のトマト、ゆで卵、きゅうり、モッツアレラチーズはセンス良く盛り付けます。



### 出来上がり!!



グリーンレタスをベースに、緑のナス、トマトの赤、きゅうりの緑、ゆで卵の白と黄色、モッツアレラチーズの白を上手に配置してください。私の配置は男の料理っぽい配置ですね。今回はフレンチドレッシングを最後にかけて食べました。  
都合上、今月12月のレシピとなりましたが、トマトやナスには体を冷やす効果があるので、冬よりも夏に作るのさっぱりしていて食欲が増すのではないかと思います。